

令和4年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 016	提案機関名 二宮町
要望問題名 オリーブ栽培における農薬の効果的な使用方法・時期の確立について	
<p>要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】</p> <p>二宮町においては、平成24年度からオリーブ栽培を奨励し、着実に栽培面積を拡大しています。また、県やJA、近隣市町、関連事業所等で構成する湘南オリーブ振興協議会においても、湘南・県西地域の新たな特産物となるよう広域的に栽培普及を推進しています。</p> <p>近年、オリーブの栽培面積が増加するにつれて栽培農家より、炭素病、すす病、ゾウムシ、カメムシ、カイガラムシ等の病害虫被害の相談が増加し、対応に苦慮しています。また、使用可能な農薬の種類は増加しておりますが、オリーブ栽培におけるこれらの病害虫に対しての効果的な使用方法については、未だに確立されていません。</p> <p>つきましては、オリーブ栽培における農薬の効果的な使用方法・時期の確立について、研究いただけますようお願いいたします。</p> <p>また、二宮町園芸協会オリーブ部会（生産者の団体、事務局は二宮町）でオリーブ栽培暦を作成しております。使用可能な農薬の増に伴う更新に関し、ご助力いただけますよう併せてお願いいたします。</p>	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	農業技術センター	担当部所	足柄地区事務所研究課
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) Ⅲ 安全・安心を確保するための技術開発 1 病害虫の診断同定及び発生生態の解明に基づく予察・防除技術の確立 (1) 診断・同定及び防除技術の開発 キ オリーブの病害虫に対する防除法の確立		
対応の内容等	<p>平成28年度から令和元年度までオリーブの病害虫対策として、病害虫発生状況の把握や薬剤の防除効果について検討しました。また、果実だけでなく、2～3月に発生する剪定枝の葉を茶葉として利用するため、同一樹で果実と葉の収穫を可能とする防除体系についても検討しました。詳細については、「令和元年度試験研究成績書（カンキツ等）」の33ページを参照してください。</p> <p>なお、オリーブ栽培暦の作成にあたっては、登録農薬に関する情報や他県の成績等について、情報提供します。</p>		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			